

建築研究所ニュース



平成20年9月18日

国際ワークショップ「地震災害軽減のための建築物の免震・制振技術」の開催について

独立行政法人建築研究所、中国南京工業大学および日本免震構造協会の主催により、国際ワークショップ「地震災害軽減のための建築物の免震・制振技術」を、平成20年11月18日（火）～20日（木）に、中国・南京市において開催します。

ワークショップでは、中国の四川大地震や日本の岩手宮城内陸地震などの最近の地震被害を受けて、地震災害軽減のための建築物の免震・制振技術の開発と普及に関する協議を行います。会議には、中国、日本、米国、イタリア、台湾、韓国、ニュージーランド、トルコ、ロシア、イランなどから50名を超える研究者・技術者の参加が予定されています。

すでに中国には、600棟を超える免震建築物が建設されていますが、今回の四川大地震を契機に、中国において免震・制振建築物の需要が一気に高まるものと思われます。本ワークショップでは、免震・制振建築物の国際的な普及に向けて、参加各国の免震・制振建築物の現状と、最新の技術開発、教育・普及方法などについて討議を行います。

なお、本ワークショップは、CIB（建築研究国際協議会）のW114委員会「地震工学と建築」（コーディネータ：独立行政法人建築研究所 齊藤大樹上席研究員）の活動の一環として開催されます。

（内容の問合せ先）

独立行政法人 建築研究所
所属 国際地震工学センター
氏名 齊藤大樹
電話 029-864-6751（直通）
E-mail tsaito@kenken.go.jp

開催概要

国際ワークショップ 地震災害軽減のための建築物の免震・制振技術

2008年11月18日～20日
中国・南京市

1. はじめに

中国での四川大地震や日本での岩手宮城内陸地震などの最近の地震被害を受けて、CIB/W114委員会（地震工学と建築）では、地震災害軽減のための建築物の免震・制振技術とその普及を目的とするワークショップを中国・南京市において開催いたします。

会議では中国、日本、米国、イタリア、台湾、韓国、ニュージーランド、トルコ、ロシア、イランなどから50名を超える参加者が予定されています。

会議では、以下の議題について討議を行います。

- ・ 中国四川大地震および岩手宮城内陸地震の被害概要
- ・ 免震・制振技術に関する各国の現状紹介
- ・ 超高層免震の設計理論
- ・ 免制振建物の性能設計技術の開発
- ・ 免制振技術における新材料・新デバイス
- ・ 発展途上地域に適用可能な低コスト免制振技術の開発
- ・ 免制振技術の普及・教育ツールの開発
- ・ 免制振建物や装置のデータベースの構築

ワークショップ運営委員長
劉 偉慶
教授、副学長
南京工業大学、中国

CIB/W114 コーディネータ
斉藤 大樹
上席研究員
独立行政法人建築研究所、日本

主催

独立行政法人建築研究所、日本
南京工業大学、中国
日本免震構造協会、日本

ワークショップ 技術委員会

Fulin ZHOU, Xiyuan ZHOU, Jinping OU, Xilin LU
西川孝夫、岡本伸、可児長英

ワークショップ 運営委員会

Xiaoping GU, Youfa PEI, Weiqing LIU, Shuguang WANG
斉藤大樹、馮徳民、猿田正明、勝田庄二、川村浩、東野雅彦、濱口弘樹

会場

南京 紫金山庄
住所 18 Huanling Road, Nanjing, China

会議プログラム (案)

| | | |
|-------|--|---|
| 11/17 | 登録 18:00- | 歓迎パーティー |
| 11/18 | 9:00- 10:00-12:00 13:00-15:00 15:30-17:30 | 開会式 発表講演 (中国以外の参加国) 発表講演 (中国以外の参加国) 討議 |
| 11/19 | 9:00-12:00 13:00-15:00 15:30- 18:00- | 発表講演 (中国) 討議 南京工業大学視察 レセプション |
| 11/20 | 南京市周辺の免制振建物の視察 | |